ダイヤモンド市況概況

消費者のブランド・ジュエリー志向高まる、合成ダイヤ混入が影響か？

【3月28日】

◆研磨石市場は米国及び中国からの安定した受注により改善している。

バーゼル・ショー開催に伴い大粒石の需要が改善、出展費用が高額のため出展企業は少数。

◆インド：市場は良好。

小粒ダイヤの安定した価格は、現地での取引において廃貨政策の影響が少なくなっていることを物語っている。

E-I、VS-SI dossier、特に0.40ctに安定した需要がある。

大手研磨業者はほぼフル稼働状態。

原石取引は堅調。

◆香港：3月の香港ショーの販売ピーク以降、研磨石市場は鈍化傾向。

0.50-0.70ct、D-H、VVS-SI、RapSpec A2+(3EX,none)需要が堅調。

ローカラー商品の売行きが好調。

第2四半期の結婚シーズンを前に市場心理が改善。

ダイヤの品質と起源の保証を求め、消費者のブランド・ジュエリー志向が高まっている。

◆3月22日付のRapNet Diamond Index(前月比、D-H,IF-VS2)は、微増微減。

平均価格は2.0ctと0.7ctが-0.8%、1.5ctが-0.4%、0.5ctが-0.3%と下落、他は微増。

ベストプライスもまちまちで、0.7ctが-1.1%、2.0ctが-0.8%、1.0ctと0.5ctが-0.6%と弱く、他は微増。

◆2016年の中国研磨石の輸入が増加。

中国税関情報センターのデータによると、2016年中国の研磨済みダイヤ輸入額は70.2億ドルで、昨年比4.9%増加した。

重量ベースでは770万ctとなり1.2%増加、1ctあたりの平均価格は916ドルとなり3.7%増加した。

一方、研磨石輸出は19.1億ドルで11%減少、原石輸出は3,000万ドルで11%増加、原石輸入は6.66億ドルで13%減少した。

Rapaport® Diamonds.Net「Market Comments 3/23/2017」等より一部抜粋

[提供 :㈱ネットジャパン http://www.net-japan.co.jp/market/2017/03/post_175.html]

「ファッションとアート 麗しき東西交流」展に

日本宝飾クラフト学院所蔵のコレクション36点

横浜美術館 4月15日～6月25日

ターナー「ドレス」　1870年代　京都服飾文化研究財団蔵　リチャード・ホートン撮影

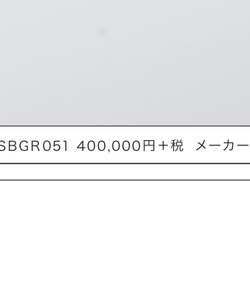
横浜美術館で、4月15日から開催される「ファッションとアート 麗しき東西交流」展に、日本宝飾クラフト学院所蔵の日本の伝統装身具コレクション36点が出品され、会期中4月22日14時から、同学院長の露木宏氏による講演会「日本のジュエリーの歴史と美－近代の髪飾り、帯留、指輪など」が行われる。参加費は無料。定員240名。

同展は、1859(安政6)年の開港以来、西洋の文化を受け入れ、日本の文化を海外に送り出す玄関口としての役割を担ってきた横浜で、19世紀後半から20世紀前半のファッションと美術に焦点を当て、横浜を一つの拠点とする東西の文化交流が、人々の生活や美意識にどのような影響を及ぼしたのかを紹介する。

明治以降の日本では、西洋からもたらされたファッションやライフスタイルが、急速に人々の暮らしに浸透。一方、西洋へは日本の美術品や着物が輸出され、ジャポニスムのブームが起こった。日本と西洋の双方にとって、海の向こうの人々は、美しく珍しい衣服を優雅にまとい、自分たちのものとは異なる工芸品で日々を豊かに彩る、「麗しき」他者であったと推測される。

横浜では初めての展示となる京都服飾文化研究財団(KCI)所蔵のドレスや服飾品約100点を中心に、国内外の美術館や個人が所蔵する服飾品、工芸品、絵画、写真など計約200点を展観。日本と西洋が互いの装いと生活の文化をどのように受容・展開し、新しい美を見出していったかをたどる。＊会期中、一部展示替え有り。

なお、関連イベント(予定)として、ワークショップ＝こどもの日ワークショップ(5月5日)、日本刺繍の魅力鑑賞と創作体験(5月21日)。シンポジウム＝「ファッションとアートにみる東西交流の諸相」(5月27日)。夜の美術館でアートクルーズ(5月20日)など、詳細はホームページで確認を。http://yokohama.art.museum/special/2017/fashionandart/ 観覧料：一般1500円、大学・高校生900円、中学生600円、小学生以下無料、65歳以上1400円。



家庭用永久磁石磁気治療器
ULTRA Neo®
PAT.Japan·USA China EPC
金具のないネックレス
簡単に着脱できるマグネット式にして、留め金を無くしました。多彩なカラーと素材展開で、どんなスタイルにも対応できます。
http://www.sunchalaine.com
株式会社 サン・シャレーヌ
〒110-0005
東京都台東区上野5-16-16 天美ビル3階
TEL:03-3836-5800　FAX:03-3836-5850
E-mail:info@sunchalaine.com
ULTRA Neo®は当社の登録商標。商品は当社の特許製品。模倣行為は違法であり、禁止。

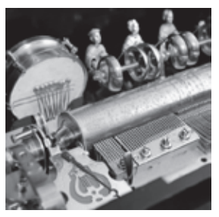
佐藤英昭弁理士による 『特許の哲学』 其の12

発明の価値について

発明は実施されて初めて産業と結び付き価値を生じるものである。発明には国境がないことから、人の生活を豊かに向上させようとして、山間僻地は勿論のこと、海を渡り空を越えて人の生活のあるところに行き渡ろうとする。このような性質を有する発明を対象としているので、特許制度を支配する国が、国際経済社会を支配できることになる。

特許は株式、商品の販売、会計原則、ノーベル賞等、経済・社会生活に影響することが大である。特許を取るための明細書には、発明を実現する技術的手段の内容・作用及び効果を細部に至るまで言葉で表現しなければならない。特許明細書は、技術的文献としての機能と権利証としての機能を有している。従って、特許出願することは、法的に有効な科学的記録を確立することと同等であるし、哲学的・歴史学的な啓蒙活動にもなるのである。発明には国境がないという国際性と各国の国益調和によって特許制度が成り立っているのである。

(特許業務法人共生国際特許事務所所長)



企画展示「スイスのオルゴール」

六甲オルゴールミュージアム 4月27日～8月31日

阪神電気鉄道㈱の子会社である六甲山観光㈱が、運営する「六甲オルゴールミュージアム」(博物館相当施設)では、4月27日～8月31日まで、「スイスのオルゴール」展を開催する。

オルゴール発祥の地、スイスのオルゴールについて特集。約150年前に作られたアンティーク・オルゴールから現代製のものまで約30点のスイス製オルゴールを展示し、その歴史や技術を紹介する。入館料大人1030円。

六甲オルゴールミュージアムでは、アンティーク・オルゴールを中心に様々な自動演奏楽器を所蔵し、展示公開している。また、これまでオルゴールの歴史や仕組みについて解説した常設展示を行っていた。2017年度からは、より深くオルゴールの魅力を紹介する為に、オルゴールなどの自動演奏楽器の歴史や技術、更にはその背景にある文化など、色々な角度からテーマを設け、所蔵品を紹介する企画展示を行うことになった。今回は、その第一回展としてオルゴール発祥の地、スイスのオルゴールをテーマに展示する。

また、併設のカフェでは特別ランチメニューのラクレットを使ったスイス郷土料理(数量限定の1800円)も提供し、企画展示と合わせて楽しめる。

小売の十字路 130

時計小売りに将来はあるか

自分の店を子供に継がせた方がいいかどうか迷っている店主もいるだろう。先が見えないとはいえそれなりに成り立っているなら閉店も踏ん切りがつかない。コアの客もいる。どうしたものか、世の中の変化は速い。子供の代で行き詰るリスクも小さくない。あれやこれや悩むところである。そこで時計小売りの現状と将来を整理してみた。参考になれば幸いである。

まず時計の小売は社会から必要とされていることは間違いがない。ネットが全盛であってもリアルな店舗は必要とされる。時計の販売に限らず、バンド交換、修理全般、それぞれにネットがすべてを代替えは出来ない。けれども時計小売りが先行きも今も経営として成り立つかどうかは極めて危うい。だから必要とされるという事だけに気を取られると間違える。肝心なのは時計小売が経営として成り立つか否かということである。

これからの時代にとってリアル店舗でモノを販売する上で押さえておかなければならないことは数点ある。一つは扱っている商品にネット対抗力があることである。宝飾品ならば手に取ってみないとわからない部分もあるのでネット販売には限界があるが、時計は品質の均一性を考えてもネットで売れる商材である。仮に今は店舗販売の方が主流であったとしても、今後の時計販売の伸びは期待できないと考えた方がいい。次にその商品の粗利率が高いことである。数量は少なくとも利益が高ければ何とかやっていけるメドが立つが、時計は期待できない。ディスカウンターの割引率もネットの割引率も正札の30%にもなっている。これでは一般の時計店はどうしても利益を削ってしか販売できない。利益の面から見れば時計は儲からないのである。もう一点は扱っている商品に自店の商圏内で競争力があることである。この点では宝飾品なら自店の個性を出せるが、時計ではメーカー主導なのでほぼ似たり寄ったりの品揃えになる。結局商圏内で他店との差別化は極めて難しいということになる。

まとめてみると扱い商品に①ネット対抗力があること②利益率が高いこと③商圏内競争力があることということになるが時計はことごとくダメである。それでは時計修理はどうだろうか。一見すると修理こそ小売りの生き残る術のように思われるが、そうではない。時計の修理で肝心なことは、技術が優れていることではない。そうではなくていかに修理品を数多く集めるかである。そうなると結局地域の一番店が信用からいっても立地からいっても優位になることは必然である。品ぞろえがきちんとしていなかったり、場所が町のはずれであったりすればおのずから修理品も限られるのである。加えて今後メーカー独占修理のウェートが大きくなるだろうから、利益の面から見ても先行きはけっして明るくない。おそらく人口と時計修理のパイは一定程度相関している。右肩上がりに伸びていく分野ではない。

時計小売の現状と展望の一般論を述べたが、まったく新しい視点から時計小売りの経営、運営を創造しない限り、従来の在り様ではせいぜい地域一番店が生き残る程度ではなかろうかと思える。時計業界というのは圧倒的にメーカーの力が強い。それゆえ時計組合が小売りの利益のためにメーカーと対決するかというと訴訟ひとつ起こせないていたらくである。

時計小売の発展的将来は従来の路線の上には無いといっても過言ではない。

貧骨
cosmoloop.22k@nifty.com

ご意見ご提案は本紙(FAX03-3833-1717)まで。
真摯なご意見には回答させていただきます。

お店とお客様の橋渡しができる!!
販売員さんご紹介します！
BICO・GHI株式会社
エムシージーマネキン紹介事業部
東京　TEL:03-3409-6954
札幌　TEL:011-219-0758
大阪　TEL:06-6348-1020

Uという男のこと。

「先生、先生じゃないですか？」。暗闇から水木しげる描く妖怪のような男が現れ、青木の顔をのぞきこむ。えっ？だれだ？私を先生と呼ぶ人間は少ない。あわてて頭の中の名簿をめくってみる。思い当たる節がない。不思議に思って見つめていると、妖怪は不気味に笑い、「Uです。冨士の陸自にいたUです」と、言う。U？変わった名前だ。陸自？陸上自衛隊？それも思いつかない。「陸自のトッカです」。トッカ？ますますわからない。トッカってなんだ？。「特別の特に、火器の火と書いて特火です」。いかにも自衛隊らしい呼び名だ。「すまん、思い出せない」。素直にあやまる。

「特別の特に、火器の火のトッカでよかった。火じゃなくて、価格の価の特価じゃ、駅前のスーパーだ」。青木が持ち前の遊び心でそう言うと、前歯一本のほら穴のような口を開け、妖怪が全身で笑った。笑い終わると、「30年も前になりますが、空手を教わりました。先生が自衛隊にきてくれて」と、言う。そういえばたしかに自衛隊に空手を教えに行った。自衛隊には先輩がいて、一週間ほど指導に行った。妖怪の正体がわかった青木は安堵して、改めて相手の様子を眺めた。子どものような小さな体。頭髪はほとんどない。あめ玉のようなツルンとした丸顔。眉毛はない。ボタンのような小さな目が、子どものそれのように好奇にきらめいている。作業着のような上下服が、垢じみている。「そんときのお礼です」。妖怪は、愛嬌のある目をくるりと回して、左手にもっていたカップ酒をおずおずと差しだす。これは自分の分です、と右手にもっているカップ酒をもち上げた。青木は、ありがたくカップを受け取ると、蓋を開けた。妖怪が嬉しそうに笑い、カップを掲げる。カチンとカップを合わせる。

「で、特火ってなにをするの？」。「大砲です。大砲の係で8人のチームです」。へえ、自衛隊には大砲を専門に扱うチームがあるんだ。言われてみればなるほどと思う。「でっかいの？大砲は？」。「弾丸だけで90キロの重さです」。えっ？弾丸だけで90キロ？「でかいね、小さな相撲取りくらいだ。重いね」。その弾丸を手で運び、大砲にこめるのだ、と言う。「二人で運ぶんです」。「おっかないな。落としたら爆発するだろう」。「いえ、信管を抜いてありますから、爆発しません。爆発はしないけど、落とせば足なんか潰れちゃいます」。妖怪は、一本しかない歯を見せながら、くっくっくと鳩のように笑う。体を折り曲げると、手のカップ酒がこぼれた。あわてて口をカップにもっていき、一口飲むと、また体を折ってくっくっくと鳩になる。「相当飛ぶんだろうね、その大砲は？」。青木は、90キロの弾丸が青空を切り裂いて飛ぶのを想像しながら聞く。「20キロ飛びます」。「えっ？20キロ？すごいね、ここからだと上野か浅草くらいまで飛ぶな」。「冨士ではしません。狭すぎます。仙台まで行きます、実弾射撃をするときは」。自衛隊に6年いて、それ以後働いてません。生や保険の外交をやった、と言う。「長距離トラックをやってるとき事故を起こして、それから塾の先ん」。いまはホームレスで、生活保護を受けている。家族とは20年以上音信不通だ。「でも、いまが一番幸せです」。そう言い、くっくっくと笑った。コップ酒がこぼれた。漱石の小説「こころ」に出てくる主人公の兄は、能力があるのにぶらぶらしているのはつまらん人間に限る、と言った。「イゴイストはいけないね。なにもしないで生きていようというのは横着な料簡だからね」と、言った。人の幸せは、それぞれだ。俺よりずっとUのほうが幸せだ。今度は俺が教わった。青木はそう思い、くっくっくと鳩になって笑った。カップ酒がこぼれた。嬉しそうにUが青木を見た。

高野 耕一　一話一会　No.317

(たかの耕一:tagayasu@xpoint-plan.com)

グランドセイコーは、
グランドセイコーを超えていく。
GS
Grand Seiko
SBGR051 400,000円+税 メーカー希望小売価格 自動巻　www.seiko-watch.co.jp/gs/
SEIKO
セイコーウオッチ株式会社